

第1回総合教育会議会議録

日 時 平成30年11月6日（火）午前10時00分～11時29分
出席委員氏名 深浦市長、松本教育長、光田委員、松永委員、山口委員、
酒見委員

出席を求めた事務局職員

政策経営部長（山邊）、政策経営部副部長兼企画政策課長（桑本）、
教育部長（緒方）、教育副部長兼教育総務課長（力武）、学校教育
課長（墨谷）、生涯学習課長（松園）、体育保健課長（梶原）、市民
図書館長（杉原）

傍聴者 2名

開 会

事務局

皆様おはようございます。本日はご出席いただきましてありが
とうございます。ただ今から、平成30年度第1回総合教育会議を
開会します。

事務局

まずはじめに、深浦市長に挨拶をお願いします。

市長

皆様、おはようございます。

本日は、教育委員の皆様方におかれましては、総合教育会議に
出席いただきありがとうございます。先程は、教育委員会表彰式
に出席させていただいて、皆さんそれから子ども達の顔を見て、
すがすがしい気持ちにさせていただいております。

さて、本市におきましては、平成27年6月に総合教育会議を設
置して以降、今日まで「学び 育ち つなぐ」を目標とする大綱
の策定をはじめ、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策や、
児童・生徒の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置につ
いての協議・調整が行われてきたと聞いております。

昨年度の会議では、デジタル教科書の配備や、学校図書館の電
算化、留守家庭児童クラブの施設拡充と年齢拡大などが議題に上
がったと聞いております。私も皆様方のご意見をお聞きした上で、
市長就任後は、補正予算にだいたいのところ計上してきたつもり
でおりますし、今後も是非努めていきたいと思っております。

私はいつも言っておりますが、子どもは未来を担う大切な宝で
あると思っております。そして、その育成を図り、何よりも児童・
生徒が学習活動に専念できる環境を整備することは責務であると
考えております。

平成31年度につきましては、伊万里中学校の改築に本格的に取り
組みたいと思っております。それから、小中学校のエアコンにつ
きましては、今年のような猛暑・酷暑から児童・生徒を守るた

事務局
教育長

めに、もうすぐ始まります 12 月議会には全学校の普通教室に配備するように準備をするように進めているところであります。なんとか全部つけていきたいと思っております。

それからもう 1 つ、少子高齢化が進む中で、児童・生徒数が減少していく中では、今後の小中学校の統合についても検討していく時期が来ているのではないかと考えています。

いろいろな諸問題があるわけですが、本市の教育行政の推進にあたっては、この総合教育会議を通して市長部局と教育委員会との連携を深めることが必要不可欠であると思っております。両者一体となって伊万里市の教育にかかる課題の解決、そして子どもたちのためにどのようなサポートをしていくべきか、取り組んでいくかを慎重に、迅速に考えていく必要があると思っております。

今日は、第 1 回の会議となりますが、教育委員の皆様方と十分な話し合いをしたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

今日は、よろしくお願ひいたします。

続きまして松本教育長に挨拶をお願いします。

ごあいさつを申し上げます。

先程は教育委員会表彰でのお祝いのメッセージをいただきまして、ありがとうございました。

市長と教育委員会の連携につきましては、市長就任後直ちに教育委員会との意見交換会を開催していただくなど、密接な連携を取っていただいております。今後も市長と一体となって本市の教育行政の推進を図れるよう、より良い関係を続けていきたいと考えているところです。

現在、全国的な傾向として、学力水準の低下、いじめや不登校の問題、特別支援教育の充実、少子化、教育施設の老朽化、家庭・地域の教育力の低下などなど、本当に教育上の問題や課題は複雑多岐にわたっております。より具体的な対応が求められているのかなと考えております。

そのような中で、昨年度課題となっております、デジタル教科書の配備につきましては、活用に向けてのご配慮をいただいておりますし、また、学校図書館の電算化については、既にスタートをさせていただいております。また、留守家庭児童クラブにつきましても、大坪第 4 児童クラブの新築に向けて予算措置をいただくなど、迅速な対応を取っていただき、教育委員会としても大変感謝をしているところです。

本日のこの会議におきましても、柔軟でかつ適切な教育行政の

推進のための、有意義な協議・調整の場となることを期待しております。本日はどうぞよろしく申し上げます。

事務局

続きまして、議事録署名者の選任をさせていただきます。松永教育委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

松永委員

はい。

事務局

それでは、松永教育委員よろしく申し上げます。

事務局

それでは議題に入ります。本日は法に基づきまして、会議は公開といたしております。しかしながら、法にも規定はございますけれども、どうしても個人の情報に触れる部分であるとか、また、会議の公正が害される恐れがあると認めるとき、その他公益上の必要性があると認めるときはこの限りでないとされておりますので、会議の過程におきましてそういう部分に議論がいたる場合には傍聴人の方にご退席いただくことがございますので、あらかじめご了承くださいと思います。ここからは、設置要綱第4条第1項により、市長が会議の議長になることとされておりますので、以降の進行につきましては、市長にお願いいたします。

議長

それでは協議に入ります。「(1)いじめ、不登校の現状、対応について」ですが、これは地方教育行政法の改正のきっかけとなったものでもありますし、10月26日の新聞でも、全国的に過去最多を更新したとの報道もあっております。本市における現状や対応状況について情報を共有するため、議題として取り上げたものです。今日の佐賀新聞でもいじめ41万件と大きく取り上げられております。

そういうことからいじめに対する対応のチェックをしたいと思っておりますので、「いじめや不登校等の現状や対応について」、教育委員会から説明をお願いします。

学校教育課長

(いじめ、不登校の現状、対応について説明)

議長

ただいま、「いじめ、不登校の現状、対応について」説明がありましたが、皆様から何かご質問ご意見等がございましたらお願いします。

A委員

いじめの対策の中に、情報通信機器について保護者への理解をとありますけれども、この間、学校訪問にまいりましたら、中学校では半数が携帯電話を所持しているという報告がございました。我々がPTAをやっていた時代からすると、持たせないという考え方が時代にそぐわないという現状ではないかなと危惧しているところです。中学生が携帯電話を持っておるということであれば、当然いじめの件数でLINEグループでのいやがらせとかも、ある意味必然的に含まれてくるのではないかなと感じているところです。したがって、市の連合会の「家庭教育宣言」と連携をする

となっておりますので、もう少し実際持っている家庭が多いという訳ですので、さらなる保護者さんへの指導を進めていく必要があるかと考えております。具体的に、市の連合会のPTAと実際に連携している事例があれば教えていただければと思います。

学校教育課長

市のPTA連合会で「家庭教育宣言」ということで、制作をしていただいております。主に情報モラルについて、子どもや家庭に呼びかける宣言を作っています。それと学校がタイアップをしまして、その宣言の家庭への掲示など、保護者への啓発をどの学校も協力して行っているところなんです。

A委員

ここでは、小学校以上の連合会の取り組みということで、できればその下の幼稚園・保育園の時代からの、こういうものについての考え方というのを、教育をできるような感じで幼稚園・保育園の方で保護者に対して、ちょっと言えば赤ちゃん、1歳2歳になればスマートフォンも使えるようになるので、子守りをスマートフォンにさせるという報道もあったりもしておりますので、そういうところからも出来れば少しずつ、こういう情報を幼稚園・保育園に向けても発信していただけないかなという思いはあります。

議長

学校でスマホや携帯を持つこと自体はどうなっているのでしょうか。学校に持っていくこと自体はたぶん駄目だろうと思えますけれども。

学校教育課長

以前は小中学生には持たせないということでやっておりましたが、実際には持っている児童生徒がたくさんおります。今の指導としましては、持っていることは前提で正しく使うという指導を行っているのが現状だと思います。

議長

私も子どもには持たせていた方なんですけど、公衆電話も無いし、雨が降った時に迎えに来てというのもあるし。私が市民センター長をしていた時に、携帯電話を忘れたという子どもが来て公衆電話のかけ方が分からないと言うんですよ。お金を入れてるけど戻ってくると言うんですね。上げてからするということを知らないんですね。公衆電話自体があまり無いということもあるんでしょうから、私も情報系でずっと仕事をしてきましたので、便利に使えばいいと。先日黒川であった子ども話し方大会に行ったのですが、まず、字を書くとか読むとかが出来て、情報リテラシーという言葉を使うんですが、昔で言うと読み書きそろばんなんですけど、それが出来てやっていけばいいんでしょうけど、それより先に覚えて流れるというのがあるので、教育の中でも使い方というのはあると思います。なかなか難しい問題もあるんですが、使わないようにするとか、スクリーニングとかかけるんですが、人間が作っ

た技術ですから、ちょっとした時に使えたりするのもありますし。これは実際の使い方、親より子どもが知っているとかもあるでしょうし。特にLINEとかは。以前でしたら、家の電話を使えば高くなるというのもあるんでしょうけど、今はかけ放題とかもたくさんあるので分からないというのもあるんですね。この件については、子ども達には必要なんでしょうね。私の子どもが学校の先生をやっているのですが、将来何になりたいかという時にゲームクリエイターとかユーチューバーとか横文字ばかりなんですね。以前でしたら、先生になりたいとか、医者になりたいとかいう感じだったんでしょうけど、男の子はほとんどがゲーム関係のものになりたいと思っているようで、感性でやれるもの、積み重ねた勉強をするよりも、なんとなくできる、目の前でやれるゲームとかそっちにはしているような気がするので、使うにあたっては、まず、自分で書く、読む、話す、それができてからが本当なんだろうけど。この件については、教育の在り方もあるんでしょうけど、それを教えていく人達の技術とかも出てくるので。私も市役所に1人1台のパソコンをつけた方なので、職員にはパソコンから目を離して市民の方を見なさいとは言っているのですが、パソコンを見てると仕事しているような気になるのと一緒に、子ども達もそのようなことがあるのかなと思います。この件については、いろんなご意見を伺いながらなんだろうけど。やはり、保護者の方達に話をしてもらって、どういった形で現実的にやられているのかですね。

議長

後で時間を取るとして、全体を1回通す形でよろしいですか。

【はい】

議長

それでは、次に「(2)本市の教育施策における課題について」ですが、私も教育関係については、疑問をもってやっていますので、是非皆さんの経験を伺いながら、出来る限りはやりたいと思います。まず、教育施策については、①の「学校施設の今後の老朽化対策について」を課題として進めたいと思います。私は先程言いましたけれども、全部の学校を回って見た中で、本当に老朽化が著しいと。この前の議会でもありましたが、維持補修関係、なんとか雨漏りだけは早くしたいと思っていますが、あまりにも件数が多いものでどうしようかと。今回、教育施設課を作って教育施設課長を任命しておりますので、1番若手で頑張ってもらっているんですけど、なかなか予算が伴わないということで苦勞をさせているところです。この前の台風の時には松浦の公民館講堂の屋根が剥がれまして、私も現場に行って見たのですが、屋根ががばっと上がって倒れる。そういうものもひっくるめてですけ

- ど、教育委員会から施設の老朽化について説明をお願いします。
(学校施設の今後の老朽化対策について説明)
- 教育施設課長
議長 雨漏りの説明がありました。皆さんの方からご意見があれば
お願いします。
- 議長 3頁でいくと、1~6までやったら2億円かかるということですね。
- 教育施設課長
議長 あくまで概算ではありますが。
待てるのかな。H32年度からH33年度になっているものは、H33
年だったら、今4年生の子ども達はあと3年程我慢しないといけ
ないということですよ。
- 教育施設課長 優先度としましては、普通教室で雨漏りしているものを上げて
おりますので、後ろにいつているものは廊下で雨漏りしている
とかで、そういったところで優先度を付けているところです。
- 議長
B委員
議長 大坪小学校も玄関口はなんとかしないといけないんじゃないか。
雨が多い時はですね。
- C委員 雨が多い時は、廊下で滑ってとかもあるので。私も見てびっ
くりしたんですけど、教室の中にバケツがあったりですね。
- 雨漏りは床も濡れるので、非常に危険度がですね。体育館は走
ったりします。そういうところで滑って頭を打ったりはしな
いだろうかと思っておりますので、早急にしていきたいと思いま
す。
- D委員 これは6校もいっぺんに上がってきている状況ですが、今年度
一斉に調査をされたのでしょうか。これまで学校がどうゆう状況
にあるかは報告が上がっていたと思うのですが、随時対応をして
いただいて、そのほかに6校上がっている訳ですよ。本年度
大がかりに調査をされたのでしょうか。
- 議長 私が市長になってすぐに、施設課を作った時に課長を呼んで、
全部回ってくるように言いました。これ以外にも全部の学校に施
設課長が行って、何十枚もとにかくいっぱいあるんですけど、例
えば黒板の上げ下げができないとか、小さいものもあったん
ですけど、話を聞いてみたら7~8年前から動かない黒板だった
とか、そのように出来るものはすぐ夏休みの間にやってくれた
んですけど、大がかりと言いますか技術の目で見て問題がある
のは持ってくるようにと言ったんですけど、見て私もびっくり
したんですけど。
- D委員 今までそれぞれの学校で、例えば教室の雨漏りとか体育館
の雨漏りとか、そういうものについては、子ども達の危険に係
わることですから、連絡が入っていたと思うのですが、いままで
課長が飛んできて対応してもらっていたんですね。しかし、会議
の度に

写真がこんなに出てくると、こんなにも他に今年度上がってきたんだと、ただただ驚いているんですけど。状況も今直ぐに手を打たなければならないような部分も多くて、35年まで計画を立ててありますけど、どうなんだろうと思って。今までやってきてたんだから、それでやるしかないと学校側は思っているのかどうかですね。そのへんいかがですか。

教育施設課長

まず、今回調査をしてというところではなくて、以前から雨漏りをしているのがほとんどです。

D委員

上がってはきていたんですね。

教育施設課長

はい。例えば6頁の伊万里小学校の体育館の屋根の雨漏りなんですけど、これ1度工事をして止まったんですけど、やっぱりスレート屋根ということで、台風が来るたびにめくれあがって、コーキングが剥がれるとかしていて、時間が経つとまた雨漏りが発生しているという状況ということもあります。最近、新たに上がってきたものについては、5頁の牧島小学校と7頁の黒川小学校が最近なんですけど、他のものについては以前から雨漏りをしている、調査もしているんですけど原因が分からない。若しくは、規模が大きすぎて対応できていないというのが現状です。梅雨の時期はとにかく学校から連絡が入って、どうにかならないだろうかということで、応急的にコーキングを打って止まる個所もございしますが、やっぱり大規模な改修をしないと雨漏りが止まらないという状況であります。

D委員

これだけ数が上がってくるとですね。

議長

私もだいたい回ったから分かるのですが、まだあるんだと思って。まだ、トイレとかもありますし。まず全体をやるというのはあるんだろうけど、それでいくと極端に言うと、31、32、33でしょう。市として本格的なものは待つという形は技術的に何かないかな。

教育施設課長

私たちが行って、原因が分かって止められる分については、わがまちの職人さんとか修繕対応ができる所もないわけではないのですが、体育館の屋根とかはとても私たちが確認ができない場所もありまして、5頁の牧島小学校のように私たちが昇って、ブルーシートをして止まっているんですけど、こういったところまでは対応出来るのですが、全体的に止めるとなりますと。

D委員

教室への雨漏りはどの程度の雨漏りですか。

教育施設課長

教室については、大川小学校と牧島小学校で発生しておりますが、雨が降ればバケツを置かないといけないという状況です。

D委員

何か所ぐらいですか。

教育施設課長

大川小学校については、何か所といいますか、普通教室内にバ

ケツを置くと。あと、階段でも、建物の繋がっているところが漏ったりしていていますね。牧島小学校については、このブルーシートをひく前はバケツにかなり水が。牧島は1教室だったんですけど、最近また連絡がありまして、別の理科室でも雨漏りが始まりましたということで、私たちが行って、怪しいところにコーキングを打ってそれは1回止まっています。ただ、応急的なものですので、そう長くは持たないと思います。今年のこの夏の暑さでも、防水層が暑さに耐えきれなくなっているというのものもあるのかもしれない。

議長 次がいいですか。②の「学校規模適正化（学校統廃合）について」教育委員会から説明をお願いします。

学校教育課長 （学校規模適正化（学校統廃合）について説明）

議長 ただ今「学校規模適正化について」説明がありましたけど、ご意見等がございましたらお願いします。

議長 11頁の真ん中あたりに、法施行規則を満たしていない学校とあるじゃないですか。牧島小学校が5クラスということは、1クラスは複式ということですか。

学校教育課長 そうです。複式になります。

議長 それでは、6に満たないところについては、複式があるという判断でいいですか。

学校教育課長 そうです。

議長 滝野小、山代西も。

A委員 6年生5人しかいません。

議長 複式は何人からですか。

学校教育課長 合わせて16が基準となっていますが、小学1年生につきましては、よりきめ細やかにするために8名となっています。

議長 資料の下の小学校でいくと、牧島から大川内とか百に満たないところもありますね。波多津は統合してこの数なんですね。先生は1人ですか。

学校教育課長 1人です。

A委員 学年を分けて授業をする時には、教頭先生が授業に入られたりとか、教務主任の先生が入られたりとかして授業をされていますので、学校として対応は大変。忙しくなるという現状ではないかと思います。

議長 まずは東山代でしょうね。施設課長、今のところの教育委員会の計画はいつからでしたかね。3頁でいくとH33年ですか。

教育施設課長 はい。

議長 H33年基本設計。

教育施設課長 はい。

議長 基本設計をする時に小学校の規模によって違いますよね。
教育施設課長 滝野小学校は人数も少ないので、仮にそうなくてもクラスが増えるとかはないものと考えています。

議長 もし一緒になっても大丈夫ということですね。
議長 今年生まれの人も6年後には小学校1年生なので、13頁の表のようにだいたい想定はできますよね。私も時々資料で説明しますが昭和30年でしたか、子どもが2千人近く生まれていたのが、今は500人を切ってますので、その対策もありますが、急には増えませんが、12頁の1番下にあるように、今後の方向性として、小中学校の規模適正化協議会をH31年度に再開したいとなっていますが、勉強不足ですみませんが、こういった人達が規模適正化協議会に入られるのですか。分かる範囲でいいですけど。

学校教育課長 調べて後ほど資料をお持ちします。
D委員 区長会の要望と書いてありますが、平成30年8月22日東山代町の区長会ですか。

議長 そうです。
D委員 もう少し詳しく要望内容を教えていただけていいですか。区長会ではこれで固めているということですか。

学校教育課長 まだです。
議長 私もその場にいたのですが、区長会がまとまったの要望と言うよりも1つの考え的な話でした。地区全体としてのコンセンサスとかまではいってないような感じでしたね。だから、中学校については、できないものかの話ぐらいだったんですけど、じゃあ小学校をいつ頃までにどんな形でというのは中には入っていませんでした。市の方で考えて欲しいみたいな感じでしたので、私が言ったのはもう少し地区で話をしてください、その時には私なり教育長も入って話をしているから、そのような話し合いの場を持つようにしてくださいという話をしましたね。

D委員 まだそれぐらいの要望ということですね。町で固まって方向性が1つの方に向いての区長会からの要望であれば、非常にスムーズに行くんじゃないかと思えますけど。

議長 そういう風にしてくださいというお願いを私の方からはしたところですよ。

教育長 今回、滝野中学校と国見中学校の統合についての協議会を再開することにしていますので、たぶんその協議会の中で小学校の件であるとか、あるいは市全体とかそういったいろんなご意見が出てくるのではないかと。先の計画としてもやりやすくなるんじゃないかということです。全体まで行きたいなという気はしています。

議長

やはり、25年度の答申の時に12人いたのが、平成30年が4人ですからやっぱり激減している。将来的にもH31年度から数字出てますけど、このままいくかどうかということを見ると、平成26年度の時の答申の今後の生徒数の大きな変更があつての場合に該当するのではないかと私は思っています。

D委員

滝野中学校に学校訪問に伺った時に、中学校の2年生の教室で女の子の生徒が1人、先生が1人、一対一で勉強しているんですね。だから、中学校の大事な時代をこういう風に過ごさせていいのかなというのがもの凄く胸にあります。もっとこの人が仲間の中でいろんな事を話したり、一緒に楽しんだり、そういう風な時代を3年間過ごすことが大事なんじゃないかなと凄く感じています。先生1人と生徒1人というのが、中学校が今4人しかいませんので、そういう状態がクラスですとあつて、その時の学校訪問の重大さを感じました。

議長

手段さえあればなんですけどね。例えば体育だけは国見中の方に行くとか、足の問題とかもあると思うんですけど、交流する場所的なものからやっていくのがいいのかなと思うんですけどね。私も子ども達が人と接する、話し合う、コミュニケーション能力の形から言うとある程度は複数がいいと思うんですけどね。そのような議論を適正化協議会を開いていただいて再度やっていただくということです。

議長

それでは、今日のもう1つの議題、今後の文化財の保存活用について、教育委員会から説明をお願いします。

生涯学習課長

(今後の文化財の保存活用について説明)

議長

皆さんからのご意見をお願いします。

議長

何かないでしょうか。

議長

それでは、私の方から1個。今年市長になってからいろんなところに行く中で、浮立とかいろんな伝統芸能とか伝承とかありますけど、皆さんが言われるのは跡継ぎがなかなか育たないというのもあるんですけど、私が思っているのは伝承です。誰か先生がいて教えていく形になるんですけど、取り追う祭記録保存とありますけど、各地にあるそのようなものを記録として残して行く、そして次の人達が、もし悪い言い方をすると途絶えたとしても、またやろうという時に手探りでやらなければならないということを見ると、伝承するためにも記録として持つておく必要があると思います。ケーブルテレビにも言ったんですけど、ケーブルテレビが昔からの映像をアーカイブとかでも流していますよね。昔のトンテンンはこうだったとか、あれも貴重なアーカイブと思います。昔のビデオなどは劣化していくので、今の電子媒体に変

えるとか、そういうことをしたらどうですかと言ってたんですけど、ハードの部分は、例えば文化財管理センターとか物は有る訳ですけど、それに対してソフトの部分というのは終わったら終わってしまう可能性があるので、伊万里市としても貴重な伝承については、記録として保存していく。ケーブルテレビの方でずっとやられているのもあると思いますが。無形文化財でされている府招浮立とかは今回も撮影されていたようですが、他の浮立もありますよね。大川内とか久原とか。そういうふうなものを記録として残しておく必要があると今回思いました。伝えていく人も大事ですけど、どんなものがあるとか。委託するのが大変であれば、市で機器を買って貸出しをして、映してもらおうとか、やり方はいくつかあると思います。どこかで業者に頼むとなるとすぐに何千万円という話になるので、市の方で機械的なものを1つ準備して、貸出しをしてその出来上がり品は市で保存しておくとか。今、DATでも何でもいいですけど、少々のは保存できるので、そういうものを残したらどうかなっと思いました。ハード的な部分は、物なので何とかなる。それに対してソフトはなくなったら出来なくなるので、今出来てる内に記録撮影をする。ただし、1から10までは難しいと思うので、表に出る分だけでも、1時間なら1時間、2時間なら2時間作っておけば、加工したりすると大変なのでそのまま良いと思いますので、教育委員会で社会とか歴史とか伝統というものであれば保存していく政策が必要かなと思いました。

議長
教育長

皆様の方から何かないでしょうか。

私が郷土研究会にいる時に、さる相撲が12年に1回しかないということで、12年前の資料等を地元も持たなくて、随分苦勞しながら、言葉で聞いたりですね。その時は学芸員さんやケーブルテレビに来てもらって、撮ってもらってましたのでなんとかあったのですが。本当に必要な事だなと思えます。

議長

プロがするとなったらお金がかかりますけど、今言ったように舞台のところにカメラを据えて置いておけばいいというぐらいの話であれば、そう掛からなくて、誰かがセットさえすればいいと思いますので、そのあたりからでも初めていければと思います。お金がたくさんあればできるんでしょうけど、まずは機材を借りるなり、買うなりして貸出しをするとかそういうことが出来ればとちょっと思いましたので。

議長
教育長

他に皆さんの方からないでしょうか。

なかなか教育委員の中でもこのあたりを話題にすることが少なく、だから今回良かったなと思って聞いておりました。

議長

カブトガニは記録に残ってますか。

C委員

なかなか難しいですね。伊万里湾自体の繁殖地がどのくらいあるのかとか、どういう生息をしているのか、これもまだ実は分からないことがたくさんあるんですね。こういうものが怖いのは気付いた時には減っていたという、それが一番怖いですね。そういうことが起こらないためにも、伊万里高校がやっているように、日々訴えていくしかないのが実情ですね。

議長

今年の台風とかでカブトガニを見る会等がなくなりましたよね。あのいろんな木屑とかが影響があっているとか分かりますか。

C委員

木屑等は分かりませんが、ただ雨が降ったり台風が来たりすると川から相当なものが流れてきて、砂がたまってますので、ゴミも溜まるんですね。そうすると、観光に来た方が、あら汚れてますねとか、あまり良い印象を与えることができないので、地域の方にその度にかなり掃除をしてもらっています。一雨降るとかなり溜まると。一番良いのは良い時期に産卵を観れるところが今ないので。それと、展示もありますけど、もう少し成体だけではなくて、幼生から見れる状況だったらもっとアピール出来るんじゃないかなという感じはしますけど。是非そうしていければなと思います。

D委員

市長さんおっしゃったように、記録に残すというのは今の時代でしたら、誰でも出来ることなんじゃないかなと思います。12年前はまだ厳しい時代だったかもしれません。先程、生涯学習課長の説明に文化財管理センターという言葉が出てきましたが、このところを充実したものにして、そこに行けばその頃の記録がレンタルできるとか、必ずそこの方に各町のいろんな記録として届をするという形をとるとか、そのような中心的な役割の管理センターが充実したものになったら、いつでもそこに行けばあると。個人が持っているとなかなかどこにあるんだろうかとなりますので、管理センターに期待したいですね。

議長

そうですね。今だったら、データをうつせるし。スマホで取ってもらっておいてもいいんですね。データを貰って、今言われるようにどこかにライブラリーのような形で残しておけばですね。

D委員

学校校舎とか体育館跡とかではちょっといけないかなと思いますけど場所が。もうちょっと晴れ舞台の方が。もうちょっと、皆があそこに行けば借りれるという場所だったら理想的だなと思います。

議長

とにかく私が思ったのが、ハードよりもソフト。記録に残しておくという部分があれば、場所は考えて行けば良いですけど。無いので市民の方に呼びかけて、そういうものがあれば提供しても

らうとかいうのをやっていけば、難しいことはしなくても、取りあえずは出来るかなど。後は、著作権の問題とか若干あるでしょうから、そういうものをクリアーして行けば、今言われたことも可能になるんでしょうけど、中身が無いのに外側だけ作ってもしょうがないので、まずはしっかり中身を作っていければと思います。この頃ずっと浮立とかで回る中で思って、いつも皆さんがおっしゃらない事ばかりで、後継者の問題とか。よく頑張っている人がいる内にやっておかないとですね。その人がいなくなったら、後はということになるし。いろんな調査も大事ですけど、記録として残すというのはもう今しかできないかもしれないので。

議長

今文化財についていろんな意見をいただいておりますけれども、今日の議題としては、以上で終わりなんですけど、その他で皆さんの方から問題提起等あればお願いします。

議長

とにかく教育関係、問題がやるべき事がたくさんあるなど。教育委員の皆さんにご意見をいろいろ言っていただいて、なかなか予算的には厳しいんですけども、出来る限りの連携を取りながら、連携と言う言葉は私はもう古いと思ってますので、一緒にやろうということだろうと思うんですね。連携と言うと別々の組織みたいなので、伊万里市ということでは1つであるということと、一緒にやっていく中でのやれることからやっていくと思っています。せっかくですから皆さんの方からご意見とか要望とかあればお願いします。

B委員

文化財管理センターを改修するというのは、場所は決まっているのですか。

生涯学習課長

今場所がここだという考え方の整理はしておりませんが、現状からいけば、南波多と旧波多津小学校が空いているということです。

B委員

展示室というのが凄く大事ななと思うんですけど、今歴史民俗資料館がありますけど、子どももまだ行ったことがないという子どもたくさんいらっしゃるんですよ。そういう分でも市民の皆さんにどうぞ寄ってくださいという場所が展示室として設けられたら凄くいいなと思いました。

生涯学習課長

そうですね。歴史民俗資料館はある意味保管庫みたいになっていまして。

B委員

でも素晴らしいものがたくさんあるなっと思ひまして。

生涯学習課長

幸い国の補助もございます。

C委員

それから、今まで高校でしたので、初めて小中学校を全部ではないのですが、訪問をさせていただいているんですが、子どもが少ないというのが非常に寂しいなという気がするのと、老朽化

がかなり深刻な状況だなどひしひしと感じております。よろしく
お願いします。

D委員
議長

子どもは皆元気に素直に育っているんでしょうけど。

私も伊万里公民館の公民館まつりで言ったんですけど、秋祭りが
終わって啓成中学校、伊万里小学校、牧島小学校の子ども達
が皆掃除で回ってるじゃないですか、テカピカ運動。なんとか自分
達の街をきれいにしたいとか、そういうふうにやってもらったん
で、そういう子ども達になってくれているのが、また、自分達の
街だと思ってくれたことが嬉しいんですね。

議長

最後になりますが、まだまだやる事たくさんありますし、私も
やりたい事たくさんあります。是非教育関係やっていきたいと。
今日政策経営部からも来ておりますけれども、予算的な問題もあ
ります。新年度予算も出来る限りとは思っておりますけれども、
やはり義務的経費がたくさんある中で、投資的に学校関係に私の
気持ちとしてはしたいんですけど、出来ないところもありますの
で、教育委員会でも工夫をやってもらいながら、1つずつ皆さん
の意見も聞きたいと思っておりますので、遠慮なく言ってください。
はいとは言えないかもしれませんが、しっかり聞かせていただきたい
と思っております。長時間に渡りまして、ありがとうございました。
これを持ちまして、総合教育会議を終わります。